

(1) トンネルじん肺
第7陣全国一斉提訴

(2) ●おかえりにっぴー
●生健会との共闘
(3) じん肺死遺族補償
不支給取消訴訟
(4) 建交労大牟田支部
緊急声明

SOLIDARITE「連帯」 ソリダリテ

建交労大牟田支部通信

(No. 64)

あやまれ、つぐなえ、なくせじん肺 トンネルじん肺救済基金制度を創設せよ！

トンネルじん肺第7陣
全国一斉提訴



全国トンネルじん肺根絶原告団・全国トンネルじん肺根絶弁護団・建交労トンネルじん肺根絶闘争本部は、2月1日、全国7地裁（札幌・仙台・東京・新潟・福井・松山・熊本）へ一斉提訴した。

トンネルじん肺被災者ベースで62人が、鹿島建設、清水建設、大成建設、大林組をはじめ大手ゼネコンなど69社へ損害賠償請求で立ち上がった。

トンネルじん肺根絶闘争本部はこれまでに、「トンネルじん肺救済基金制度創設」を求めた国会議員賛同署名を500筆を大きく上回る数

を集約しているが、スパークゼネコンの総元締めたる「日建連」が裁判による救済基金制度創設には首を縦に振らない、何の反省もない態度を崩さない。

これまでの第6陣までの闘いは、国の権限行使の責任と、各ゼネコンの安全配慮義務違反で争い、提訴から1年強の月日をかけて和解となってきた経緯がある。

これまでの闘いで、国とゼネコン各社の責任は至極当然であったが、「日建連」は、悪びれることもなく司法での争いを選んだのである。

小野寺利孝弁護士団長は「企業が社会的責任にふさわしく資金を拠出し、被害者は最小限の証明があれば救済される仕組みをつくるべきだ」と指摘。「救済法案は与野党の大多数の合意がある」として基金を実現し、「もう裁判をしなくても救済される状況をつくりたい」と怒りを露わにした。

じかたび

2月3日、日本共産党参院選候補・にっへいさんが、大牟田地域の団体廻りの最後に建交労におみえになった。

私たちは、にっへいさんに国会に返り咲いてほしい、にっへいさんから元気をもらいたいとして、全日自労の作品老いて輝くで歓迎した。

1. 「老いて輝く」

シワの数ほど苦労があったただひたすらに生きていた残り少ない人生だけど今はシルバー仲間と共に麦藁帽子で草を刈る老いて輝く老いて輝く私の人生

2.

朝は早うから夜は夜なべ命を削って生きてきた残り少ない人生だけど今はシルバー仲間と共に歌や踊りに疲れも忘れ老いて輝く老いて輝く私の人生

3.

涙で別れた人もいた戦の中を生きてきた残り少ない人生だけど今はシルバー仲間と共に署名集めて街角へ老いて輝く老いて輝く

老いて輝く老いて輝く平和のために平和のために

前参議院議員にひさぐいさん来組

2月3日、日本共

産党前参議院議員にひさぐいさんが大牟田市内の民主団体を表敬訪問し、ラストとして建交労大牟田支部へみえられた。

私たちは、にひさんから元気をもらって、又、7月の参院選勝利の為に、歓迎曲を練習も兼ねて準備しスタンバイしていた。

骨は折れても心は折れない熱血弁護士の熱烈な訴え

14時過ぎに来組。おみえになった途端、全日自労の代表作とも言える「老いて輝く」「宝の海よ」を合唱し熱烈に歓迎。

「骨は折れても、心は折れない熱血弁護士、にひさぐい再度国会へ押し上げて頂きたい。しかし、全日自労を前進にする建交労は

かべていました。

まず、書記長より、既に絵本ぎやりにーに建て替わった旧老人保健センターの解体問題（石綿飛散）で、にひ前議員が国会決算委員会で鋭く追及していて、私たちはこれを武器に、大牟

田市へ乗り込み協議をし、解体現場の完全囲

い込み、み、発塵対策など真剣に作業していたと報告。

又、新型

コロナでやつと浮き彫りになったワーキングプアや生活に困っ



みんなでうたごえ歓迎セレモニー

凄いい元気ですね。とニッコリ笑みを浮か

ている人々へ仕事の提供をし「共に生きる」をモットーにした「企業組合大牟田市雇用福祉事業団」の取組と今後の展望について報告。

にひさんは、「皆さん方建交労の市民に対する日頃の活動に敬意を表するだけではなく、国会に返り咲いて、国民の苦難軽減を実現したい」と語られた。

保健福祉部仮設事務所内



高齢者の街だからこそ、お年寄りに寄り添う市政を！

このほど、生健会では、高齢者の加齢性難聴について、大牟田市に対し補助金の購入の補助金の増額と難聴診断のあり方についても改善を求めた。

生健会の山崎氏は、高齢者の難聴は、人とのコミュニケーション手段の一つである聴力にも大きく影響するとして強く訴えた。この大牟田市への要請には、生健会・社保協・建交労・日本共産党市議にも支援要請が来ており、5名で大牟田市保険福祉部へ押しかけてズバリ要求を唱えたのであります。

しかし、今回の要請は生健会と社保協の2名で実施する予定でしたが、要求を突きつけるには出来るだけ人数を集めて押しかけないと市はなかなか取り上げないのが現状。そんな中で、よくぞ建交労に声をかけてくれたと思います。単なる消化運動ではダメなんです。

全日本生活と健康を守る会連合会大牟田支部

国の策動を打ち破る 画期的判決！

2月22日、福岡高裁において「じん肺遺族補償不支給取消訴訟」の判決を迎えた。建交労長崎を中心に福岡・熊本・福建労福岡県・大牟田支部等が支

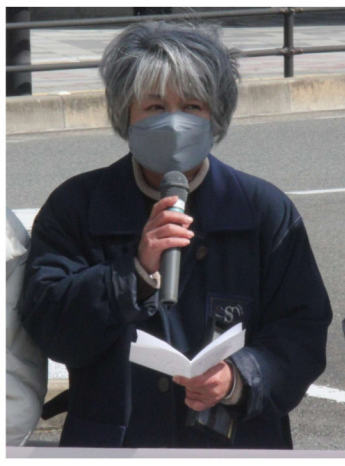
じん肺遺族補償不支給取消訴訟



援参加し、長崎のテレビ局も取材に来ていた。そもそもこの裁判は、炭鉱などで働いていた労働者が粉じんによるじん肺を発症し、労災が認められていた。じん肺は恐ろしいもので、やがてじん肺死になるが、死亡診断書には「間質性肺炎」と記されていた。

※「間質性肺炎」とは、じん肺や膠原病などの肺疾患の総称であり、肺のX線画像を診ただけでは、「間質性肺炎」という言い方をする。そこへ粉じん職歴があつて「じん肺」という確定診断ができる。」

夫を「間質性肺炎（じん肺）」で亡くしたご遺族らは、長崎労基署への遺族補償の申請をするが、労働行政（国）は、これらを「特発性非特異性間質性肺炎」とした。いわゆる病理が訳わからん不可解な疾病名で不



支給とするものでした。これに対し、審査請求・再審査請求を行うが国の態度は覆らず、長崎地裁での本訴訟になった。

国は、色んな医者を証人として出廷させるが、原告団は、じん肺の権威、海老原先生の愛弟子である国内有数のじん肺を知り尽くす藤井医師を証人として長崎地裁へ出廷頂いた。

長崎地裁では、藤井医師が、亡くなった本件罹患者の胸の画像を裁判長へ向け「じん肺特有の陰影を指し示し、『明らかに粉じんにさらされて働いた人たちの病理がハッキリしているのに、それをじん肺でなく、「特発性非特異性間質性肺炎」とするのはいかなるものか。』と結論。

結果、長崎地裁で勝利。今回嫌がらせとしか思えない国の控訴で、福岡高裁は長崎地裁の判決を支持し、国は2連続敗訴した。

今回の勝利で特筆すべきは、建交労労職部会全国的にじん肺管理区分の低決定が横行している。

国の策動を打ち破った原告・弁護団・建交労長崎の

「絶対にあきらめない！強い決意が勝利を導いたに違いない。」



建交労大牟田支部・緊急声明

ロシア・プーチン大統領は、クリミアに対し、NATO（北大西洋条約機構）への加盟に猛烈に反発し、国連平和憲章にも背を向け、2月24日にクリミア軍事施設への宣戦布告とも言える軍事的攻撃を突如開始した。又、プーチン大統領は声明映像で、「我々ロシアは、世界で最大級の核保有国である」と核兵器脅威論までぶちまけた。

この先制攻撃で民間人も多くが亡くが続出している。

失業と貧乏と戦争に反対「いかなる理由でも



プーチン政権は、ウクライナへの殺戮と領土破壊を今すぐ止めよ！

【募集】
組合員のみなさんから、記事を募集します。

日頃の何気ないエピソードや、「うちの子、うちの孫ちゃん」なども喜んで掲載します。

300文字以内のお知らせと写真を提供してください。より豊かな新聞づくりに励みますのでご協力よろしくお願いします。

武力による解決はあり得ない」として断固、プーチン政権による国際法無視の惨忍悪行に抗議する。

我々建交労大牟田支部は、日本全国の労働者、世界各国の労働者と連帯して、プーチン政権の暴挙を許さず、ここに、抗議する事をうったえる。

「プーチン政権は、直ちにウクライナから撤退せよ！」

<行事予定>

- 3月 2日(水) 16:30～大牟田地区労連幹事会
 4日(金) 10:00～労職分会定例会(中止)
 5日(土) 14:00～民間分会定例会(中止)
 6日(日) 11:00～福岡トラックパレード(福岡空港一周宣伝)
 14:00～さよなら原発市民の集い(築町公園)
 7日(月) 13:00～公共一般分会定例会
 9日(水) 10:00～労職部会・中間会議(ZOOM)
 11日(金) 9:30～重税反対集会・税務署集団申告(笹林公園)
 13日(日) 14:00～戦争させない総がかり実行委員会宣伝・デモ
 (ゆめタウン国道側)
 14日(月) 14:00～九州建設アスベスト第2陣
 訴訟(福岡地裁)
 15日(火) 14:00～社保協幹事会
 16:00～大牟田地区統一メーデー
 実行委員会
 24日(日) 14:00～県労連事務局長会議(ZOOM)
 ※県本部上納人員最終報告
 26日(土) 10:00～全国なくせじん肺キャラバン
 第2回実行委員会(ZOOM)

健康相談会 (2月末時点)

- ・石綿健康管理手帳…5名
- ・じん肺管理区分4…1名
- ・じん肺管理区分2…2名
- ・じん肺合併症決定…2名
- ・合併症申請予定…3名
- ・じん肺遺族補償決定…2名
- ・石綿遺族補償決定…1名
- ・騒音性難聴認定…1名